

議会だより

第51号

〔9月定例会〕

きんぽう

笑顔キラキラ
青春まっさかり

- ・ 9月定例会 2～3
〔条例制定、一般会計補正予算（第2号）など〕
- ・ 議会報告会 6～7
- ・ 一般質問 9～11
3名の議員が登壇

9月定例会

平成29年第3回定例会は、9月4日から26日までの23日間の会期で開催しました。
 今定例会では、補正予算6件、条例改正4件、決算認定7件、陳情1件等を審議しました。
 また、3名の議員が一般質問しました。

条例

職員の配偶者が外国に勤務又は居住した場合の条例が制定されました

職員の配偶者が、外国での勤務その他の事由により、外国に住所又は、居所を定めて滞在する時に、配偶者同行休業を申請した場合、公務の運営に支障がないと認めるときは、職員の勤務成績その他の事情を考慮した上で、承認できるものです。期間は、3年です。

ふるさと納税寄附金の使い道を条例で決めました

- 寄附者の意向を具体的に政策に反映するとともに、錦江町と町民の未来に繋がる活用を図ることにより、多様な人々の参加による魅力ある未来づくりに資する事を目的としたものです。
- 寄附金を財源として行う事業は、
- (1) 子どもなど将来の社会の担い手の育成に関する事業
 - (2) 地域経済の活性化に関する事業
 - (3) 高齢者の社会貢献に関する事業
 - (4) 移住・交流に関する事業
 - (5) その他町長がふるさとづくりに必要と認める事業



ふるさと納税の使い道を決めた百人委員会

ふるさと納税基金条例が制定されました
 錦江町ふるさと納税寄附条例に基づき、寄附された寄附金を適正に管理し、寄附者の意向に沿った運用を図るためです。

議案番号	案件名 (主な内容等)	賛否の結果										
		厚ヶ瀬	浪瀬	染川	池迫	池田	川越	笹原	小吉	中野	右田	馬込
議案第53号	平成29年度錦江町一般会計補正予算(第3号)	簡易表決で可決									⊗	
陳情書第3号	全国森林環境税の創設に関する意見書の採択に関する陳情	簡易表決で可決									⊗	
認定第1号	平成28年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第2号	平成28年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第3号	平成28年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第4号	平成28年度錦江町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第5号	平成28年度錦江町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第6号	平成28年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
認定第7号	平成28年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗	○	
発委第2号	全国森林環境税の創設に関する意見書	簡易表決で可決									⊗	

※賛否の表示は、起立採決又は記名投票により、○賛成、●反対、⊗欠席となっています。
 ※簡易表決とは、あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず、「異議ありませんか」と諮ることにより賛否を問う採決方法です。
※議長には、表決権がありません。

橋梁長寿命化修繕事業 1,300万円など可決

一般会計・特別会計の5補正予算を原案のとおり可決しました。各補正予算の主なものは、次のようなものです。

一般会計

電話設備更新委託	568万1千円
光電話接続(文化センター)	253万7千円
〃 (教育委員会)	314万4千円

橋梁長寿命化修繕事業	1,300万円
4橋積算による増額分 (金山橋・表木第2橋・宮前橋・第2松坂橋)	

測量設計等業務	260万円
中鳥井線積算による増額分	

公共土木施設災害復旧費	165万円
災害復旧に係る重機借上げ料	

国民健康保険事業

特定健康診査等事業費	13万6千円
口腔予防ケア講演会講師謝金	6万円
糖尿病重症化予防対策消耗品費	4万9千円
糖尿病重症化予防主治医指示書交付手数料	2万7千円

介護保険事業 (保険事業勘定)

居宅介護サービス給付費	1,284万円
居宅介護サービス給付費の見込み増	

介護保険事業 (サービス事業勘定)

一般会計繰出金	29万4千円
平成28年度精算による繰出分	

農業集落排水事業

農業集落排水事業管理費	100万円
MLSS計修理(汚泥濃度観測機)	20万5千円
汚泥貯留槽第2室移送ポンプ交換	38万4千円
換気ファン交換	41万1千円

議案に対する各議員の賛否状況

平成29年第3回 定例会(9月議会) 各議員の賛否結果

議案番号	案件名 (主な内容等)	賛否の結果										
		厚 ヶ 瀬	浪 瀬	染 川	池 迫	池 田	川 越	笹 原	小 吉	中 野	右 田	馬 込
議案第44号	平成29年度錦江町一般会計補正予算(第2号)	簡易表決で可決										
議案第45号	平成29年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	簡易表決で可決										
議案第46号	平成29年度錦江町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	簡易表決で可決										
議案第47号	平成29年度錦江町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	簡易表決で可決										
議案第48号	平成29年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	簡易表決で可決										
議案第49号	錦江町職員の配偶者同行休業に関する条例	簡易表決で可決										
議案第50号	錦江町ふるさと納税寄附条例	簡易表決で可決										
議案第51号	錦江町ふるさと納税基金条例	簡易表決で可決										
議案第52号	錦江町公営住宅条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決										

決算審査特別委員会

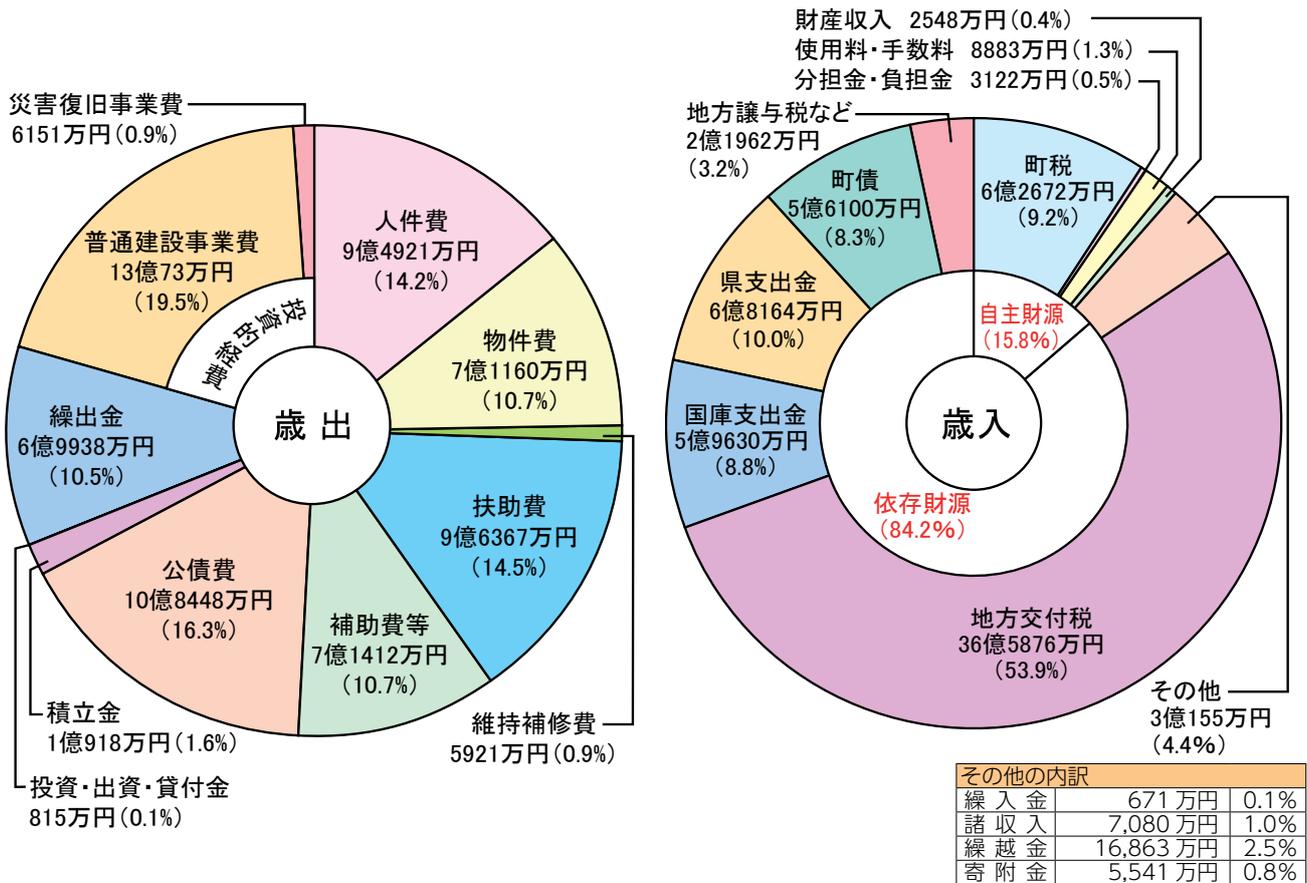
9月4日の定例会において、本委員会に付託された平成28年度錦江町一般会計及び各特別会計の7会計について、9月11日から14日までの4日間にわたり審査を行いました。

審査にあたっては、予算執行は計画的かつ効率的に行なわれたのか、予算計画に対する実績は妥当であり、かつ行政効果や経済効果に主眼をおいて審査しました。



きれいに整備された神川中原線

一般会計の決算状況



歳出決算額 66億6124万円

歳入決算額 67億9112万円

歳出グラフ (性質別) の主な内容

- 1. 人件費**
議員報酬や町長・職員等の給与、社会保険料など
- 2. 物件費**
消耗品費、燃料費、通信運搬費、手数料、備品購入費、使用料など
- 3. 維持補修費**
道路、建物などの修繕費
- 4. 扶助費**
児童手当、子ども医療費、介護福祉タクシー等の助成金など

- 5. 補助費等**
国・県、各種団体等への負担金や各種団体等への補助金など
- 6. 投資的経費 (普通建設事業費・災害復旧事業費)**
道路の新設改良工事費や災害復旧工事費、公有財産購入費など
- 7. 公債費**
町の長期借入金等への返済金
- 8. 積立金**
基金への積立て
- 9. 繰入金**
簡易水道事業や国民健康保険事業等の特別会計への繰入金

平成28年度各会計 歳入・歳出決算を認定

決算審議での主な意見

- 契約金額の変更増が見られるが、落札した予算の範囲内で執行していただきたい。
- 土づくり支援センターは民間企業なら倒産している。なかなか独立採算制では運営できないというところが年数を重ねるごとに大きな問題となっていくわけだが、そのあたりは、協議するなど、判断時期を誤らないようにしていただきたい。
- 元気おこし事業について、この事業が後何年あるかわからないが、とてもよい補助なので活用していただきたい。
- 本町の農業を担っている若い世代が自活できるように手厚い対策を講じていただきたい。
- 農業だけでなく他の業種にも目を向け町の発展のための施策を考えていただきたい。
- 雄川の滝の展望所への案内板がわかりづらいという話はないか。年配の方も多いので親切な案内板が欲しい。
- 路肩伐開作業は2メートル程度の高さでは大型車などはミラーなどが当たる。町道はほとんど木が繁茂しており、事故でも起これば大きな問題になるので、何とか対応をしていただきたい。

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	一般会計からの繰入額	基金からの繰入額	
国民健康保険事業	17億171万6千円	16億4648万2千円	5523万4千円	1億3861万円	3035万6千円	
後期高齢者医療事業	1億2920万9千円	1億2768万5千円	152万4千円	7000万円	0円	
介護保険事業	保険事業勘定	13億250万8千円	12億5547万8千円	4703万円	1億7646万3千円	0円
	サービス事業勘定	1051万6千円	1022万1千円	29万5千円	310万6千円	0円
簡易水道事業	1億3915万2千円	1億3207万円	708万2千円	3608万3千円	0円	
農業集落排水事業	2557万円	2506万2千円	50万8千円	1694万7千円	15万4千円	

議会活動の報告会を開催

7月11日から14日にかけて、町内8会場において「議会報告会」を開催しました。多くの町民の方にお集まりいただき、感謝を申し上げます。

報告会では、議会活動の報告のあと、意見交換会を行ないました。

町民の方から出された主な質疑・意見に対して、9月19日の議会改革推進会議調査特別委員会において、議会報告会のもとめ及び今後の対策について協議し、役場などの関係課で調査しましたので報告します。



活発な意見交換が行なわれました。(宿利原地区)

町民からの質疑・意見	今後の対応策の検討状況
<p>麓川の寄り洲に葦が生えて地区の用水路より高くなり、排水ができない状況である。河川については県の管理であるので、寄り洲除去を県へ、要望してほしい。</p>	<p>地区公民館長さん及び錦江町議会名での要望書に、各自治会長さん連名で、記名捺印したものを添付して、振興局、県議会議員などに送付しています。</p> <p>10月3日に、振興局が現地調査にきたとのことです。</p> 
<p>国道448号線の改修した歩道に、車の進入禁止のための丸い杭が設置してあるが、低く反射材もついていないので、車をぶついたり、自転車がぶつかり転倒した例もある。議員の皆さんに動いていただきたい。</p>	 <p>蛍光塗料が剥がれているため、反射テープを貼るなどの対応を、検討するとのことです。</p>
<p>空き家バンク、空き家の活用については、情報をもっと外に発信しないと活用は難しい。空き家リフォームなどの補助制度もあるが、周知についてはどのようにしているか。もっと空き家について、検討してほしい。</p>	<p>空き家リフォーム支援事業補助金、空き家解体撤去事業補助金、住宅リフォーム促進事業補助金の制度のわかりやすい冊子が政策企画課にあるので、利用してください。</p> <p>空き家については、議員全員で構成する「あなたの移住応援します隊」もあります。相談や情報提供など、いつでもご連絡ください。</p>
<p>馬渡橋の授産センター側からの右折ラインが消えていて、危険であり、以前事故もあったが、対応してほしい。</p>	<p>現地を確認したうえで、担当課に現状を伝え、早期対策について、要望しました。</p>
<p>花瀬大橋は、何回か事故が発生している。転落防止等の安全対策をしてほしい。</p>	<p>車道、歩道の規定されている高さの欄干が設置されているとのことです。</p>
<p>畜産管理センター、ふれあい広場のトイレの洋式への改修は感謝している。川原グラウンドの公衆トイレもたくさんの方の利用があるので、洋式に換えていただきたい。</p>	<p>高齢者を含めた多くの方の利用があり、必要性も感じることから、改修に向けて、予算要求をしていくとのことです。</p>

町民からの質疑・意見	今後の対応策の検討状況
<p>畜産管理センターは、地区民が集まる唯一の公共施設であり、投票所としても利用されている。玄関をバリアフリーにしてほしい。</p>	<p>今後、改修に向けて、予算要求していくとのことです。</p>
<p>上原自治会の空き家に都会から帰ってくる子ども連れの若者が住むことになっているが、水路のフェンスは個人がつけないといけないのか。</p>	 <p>担当課に現地確認を依頼し、今後対応を検討していくとのことです。</p>
<p>子どもたちの作品を紹介するため、にしきの里の有効活用にもなると思うが、施設に展示することはできないか。</p>	<p>多くの利用者もある施設なので、施設の一部を活用して、展示することは可能であるとのことです。</p>
<p>大根占地区の中心を通る国道269号線の植込みは草がいっぱい生えており、一斉清掃などで清掃しているが、町に委託されている年2回の作業では少ないと思う。 また、城ヶ崎三叉路は町の入り口であるが、草ぼうぼうで見苦しくなっているが、どうにかならないか。</p>	<p>国道269号線沿いの除草は、皆倉から南大隅町境まで県から町に委託されており、年に2回除草がされています。除草しても夏場はすぐに草が伸びるので、年に4回の作業ができるように要望しているとのことです。 城ヶ崎三叉路については、町有地になっており、対応について検討中とのことです。 ※街路樹の植え込みについては、県が専門業者に委託しています。</p> 

全国森林環境税の創設に関する 意見書を提出

全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情

内容

山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題です。

このような状況を踏まえ、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための全国森林環境税導入の一日も早い実現を図るものです。



採択とし、内閣総理大臣などに意見書を提出

採択の理由

市町村が主体となって実施する森林整備等に必要なた財源に充てるため、個人住民税均等割りの枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求め、平成30年度税制改正において結論を得ることから、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための全国森林環境税の早期導入を求めるものです。

農地中間管理事業の現状について

所管事務調査

◆文教産業常任委員会◆

事業の仕組み、農地所有者のメリット、耕作者のメリット、地域的なメリット、注意など事業の基本的な概要などの説明、また、地域に対する支援である地域集積協力金、個々の貸し手に対する支援である経営転換協力金、耕作者集積協力金について制度の説明を受け、調査しました。

錦江町の農地中間管理事業の平成29年3月31日現在の実施状況は、事業が始まった平成26年度からの累計で117.4haとなっており、鹿児島県全体では4869haであり、県内で17番目、耕作面積に対する面積としては、7.2%となり、県内で6番目の状況であります。

貸付状況の117.4haの内訳は、大根占地区75.7ha、田代地区41.7haとなっています。

また、協力金の実績は、地域集積協力金が6地区で1254万円、経営転換協力金が62名で2400万円、

耕作者集積協力金が60名で565万円となっているところですが、

委員から、『肝属南部開発事業で開いた農地が中心となっている地区があるが、今後、開発されていない畑も取り組んでいきたいが、名義が変わっていない畑が多い。対象になるのか。』との質疑に『相続者の半数以上の同意が得られれば、貸し出すことができる。今年度、取組んでいる地区でもそのような名義の変わっていない土地が多いところである。』

『地域集積協力金はどのような使われ方をしているのか。』との質疑に『どのような使い方もできるので、地区の話し合いによって使い道を決めている。ほとんどが、持ち主に返しているところが多い。他町では、コンバインの導入などを行っているところもある。』

『中山間地域直接支払等の対象地区については、役員もいて声をかければ、す

ぐに対応できると思うが説明会などを開いているのか。』との質疑に『この制度が始まった時に、各世帯にチラシを配布し、説明会を開いた。個別に説明会の依頼があったところには出て行って行なった。地域集積協力金の話を聞いたりすると少し興味を示されることはあるが、やはり、地区のリーダーの存在が取り組め

るかの核になってくると思う。』等が出されました。

委員会は、以上のような調査結果を踏まえ、より一層の隔々までいきわたるような普及活動を望む声もある中で、本事業が職員はもとより、推進員、事務筆耕の方を中心に対象農地の掘り起こしが、行われていることを確認しました。

～農地中間管理事業のしくみ～



ここが聞きたい!

いっぱん

質問

9月定例会では、3名の議員より一般質問が行なわれました。質問及び答弁については、要旨を掲載しております。

創 生協議会（※1）を継続するために、現在の事業の現状と、今後の方向性を示せ。
町長 自立・協働型の町民や事業者を支援し、子や孫のため希望あふれる未来を創り、繋ぐための事業を進めている。
法 人登記をしてもらう様な方向性を取らないければメリットはないと思うが、どう考えるか。
町長 最終的には、法人登記等も出来るような形を

考えていかなければならぬと思う。
具 体的にどういった方法でITを取り入れていくのか。
町長 ITに意欲的に取り組もうとする生産者の方々に応援していきたい。
I T化への初期投資の助成について、どう対応するのか。
町長 出来る限りの投資はしていかねばならないと考えている。

地方創生

創生協議会の現状と今後の方向性は希望あふれる未来創りを進める。
町長 自立・協働型の町民や事業者を支援し、



染川 金治 議員

質問事項

- ・創生協議会の方向性
- ・農業のIT化

農

産物の販路開拓を、創生協議会を中心に、させることはできないのか。

町長 販路開拓についても、創生協議会のノウハウを使っていく。
（※1）創生協議会
錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会



町と町内の農業法人とIT企業がAIを活用した農業技術確立に向けて共同研究を進めています。

錦江町の地方創生への取組

（主な事業）

- ◇土台づくり
- ・行政・議会・町民合同の研修
- ・百人委員会の開催
- ◇しごとづくり
- ・お試しサテライトオフィスを活用した新たな企業誘致
- ・ふるさと納税を活用した新たな事業展開への支援
- ◇ななまづくり
- ・移住・定住PR
- ・空き家発掘のためのキャンペーン
- ◇ひとづくり
- ・各界の先駆者を招聘して行なう未来塾や未来づくり講演会の実施
- ◇新しい絆づくり
- ・新たな集落の在り方の研究



川越 裕子 議員

住宅用地

若者の定住促進事業を実施できないか
町長 移住者用の住宅施策と併せて検討したい

旧 田代町において、昇陽団地を住宅用地貸付事業として開発されたように、若者の定住促進事業を実施できないか。

また、交流センターを建設されると、保健センター等の町有地が空くが、事業に適用されないか。或いは、使途について検討されているか。

町長 本町では、不足している移住者用の住宅施策と併せて検討したい。

保健センター周辺跡地については、公共施設等総合管理計画を基本に、移住



保健センター・老人福祉センター周辺の有効的な跡地利用が期待されます

管 理が難しい土地を有効的に売却すること
者や子育て世代の誘致に役立つ活用ができればと考えている。

質問事項

- ・住宅用地貸付事業
- ・特色ある学校づくり

は、非常に良い事業ではないか。住宅を造った場合、建設費用が非常に高く、管理費も嵩むので、町有地もある程度良い時期が来たら民間に移行する方策も必要になるのではないかと。
町長 空いてくる土地については、移住定住を考えると上の住宅政策と併せて考えていきたい。

学校教育

特色ある学校づくりの今後は
教育長 学校の活性化、教育の質の向上に繋がるよう努力したい

特 色ある学校づくりの28年度実績と29年度の計画等があれば示せ。

教育長 地域の素材や人材を活用することで、学習内容が豊かになる、故郷への愛着が増す等のメリットが考えられる。

実績として、各学校がそれぞれ郷土愛を育む取り組みや文化・歴史を学ぶ取り組み等、充実した活動を通して、子どもたちが錦江町



神川小では宿利原小、池田小と一緒に地引網を体験しました。

や学校等の良さを改めて感じたり、地域の方々への感謝の心を持つことができた。また友達と協力する大切さや自己肯定感を高める機会にもなった。

問 題点や、課題をどのようように受け止めているか。

教育長 まずこの事業の趣旨等を全教職員が共通理解し、計画を検討した上で、指導する事が大事ではない

かと考える。また、事業費の使途等も目的に合わせ検討していく必要がある。この事業が充実し、学校の活性化、教育の質の向上に繋がるよう努力してまいりたい。

特色ある学校づくり補助金

- ◇ 創意工夫を生かした学校教育の充実を図るための事業
 - ◇ 学校及び地域の連携を図るための事業
 - ◇ 児童及び生徒の体験学習活動の充実を図るための事業
 - ◇ 児童及び生徒の健康の増進を図るための事業
- など、創意ある特色ある学校づくりを推進するため、小学校、中学校に補助金を交付するものです。

耕

耕作放棄地を利用した新規作物の導入について、比較的、労力を要しない果樹栽培等で、本町の気候に適した、自然災害等に耐える、オリーブ、アーモンド、アテモヤ等を調査、導入する考えはないか。

町長 耕作放棄地の発生防止策として、保全管理活動や農地の賃借等の取組を行なっている。

オリーブ等については流通方法が特殊であると思われる、一般的な市場での販売は難しいことが予想される。そこで、生産・販売で

農業振興

オリーブ・アーモンド・アテモヤ等を導入する考えはないか
町長 情報収集を行ないながら前向きに検討する



池田 行徳 議員

質問事項

- ・耕作放棄地を利用した新規作物
- ・避難所や非常用物資

の所得等について情報収集を行ないながら、前向きに検討させていただく。

ア

テモヤは、とても高級なフルーツとして

名前があがってきている。トロピカルハウスでのアテモヤの実証実験についてはどう考えるか。

産業振興課長 高級な食材ということとは、同時に栽培自体も非常に難しいと聞いている。新しい品種の導入については、十分検討していきたい。

災害対策

避難時における備蓄品の準備は町長 寝袋など準備しており、調達も可能と考える

大

規模な災害等に対する日用品等の準備はどうしているか。

町長 寝袋90枚等がある。長期的な避難生活には足り得る量ではないが、県との協定により、物資の調達は可能と考えている。

食

料品等は期限内に安く提供すれば経費節減にもなるが、考えはあるか。

総務課長 できる限りその目的を有効に活用できる形



与論町で栽培されているアテモヤ

で検討を進めたい。

社 会福祉協議会への連絡はどうしているか。

町長 避難準備が必要な場合、社協及び保健福祉課に避難行動要支援者等への対応を依頼している。

火 災の際、被災者に毛布等が社協から配布されるが、不足した場合、町としてどのような対応を考えるか。

総務課長 事案に応じて最善の策を講じたい。

テ レビ、クーラー等の設備はどうなっているか。

総務課長 テレビは配置している。空調設備は必要と考えるが、体育館は困難であり、現在、扇風機での対応しかない。



もしもの為に備えています

錦江町が備蓄している非常用物資

- ・寝袋 90枚
- ・折り畳みマット45枚
- ・非常食300食
- ・ビスケット540袋
- ・500mlの水72本

※台風などの短期的な避難については、事前に、毛布・食糧・日用品・常備薬など、ご自身でご準備ください。

定例会は11月に 田代支所で開催します。



定例会の会期は、
11月13日から17日の予定です。
田代支所3階の議場へ傍聴に是非おいでください。

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと言われますが、10月にも夏日があったりと残暑が続きました。

今年も、いつものように田んぼの畦には彼岸花が色鮮やかに咲き、稲の収穫もそろそろ終わりに近づいているようです。

衆議院議員総選挙も終わり、いつもの12月議会を11月中旬に開催し、後半に町長選挙が行なわれる予定で



表紙の紹介

10月8日、第13回町民体育大会が盛大に開催されました。

老若男女が一堂に会す、町の一大イベントは、開催を祝福するかのようには太陽が照りつける下、笑いあり感動ありのすばらしい大会となりました。

す。

議会広報紙については、研修会に参加し、他市町村の広報紙を参考にしながら多くの皆様に見てもらえる、読んでもらえるよう努めてまいりたいと思っております。

◆議会広報編集委員会

委員長 小吉 昭弘
副委員長 川越 裕子
委員 馬込 守
右田 正

厚ヶ瀬博文